

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40		-		3.4
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.15	3.0	1.00		3.0
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				-	-	-	-		
2 温熱環境				2.0	0.35	4.0	1.00		3.5
2.1 室温制御				3.0	0.50	4.0	1.00		
1 室温				3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		断熱性能等級等級4を取得予定		3.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.8	0.25	3.4	1.00		3.3
3.1 昼光利用				3.6	0.30	3.4	0.35		
1 昼光率		共用部:2.0%以上2.5未満、住宅部:1.25%以上		4.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.35		
1 昼光制御		住宅部:カーテン、庇にて制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.29		
4 空気質環境				3.2	0.25	3.5	1.00		3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		建材材料は、JIS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.40	2.6	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保		-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.9
1 機能性				2.7	0.40	2.6	1.00		2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		風除室において1次扉と2次扉の自動扉の間隔は4mとしている。外部に露出する金属部材はアルミを採用している。		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		水を使用し清掃する箇所(ゴミ庫)には適度な勾配2%を計画している。廃棄物のスペースを確保している。		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.7	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3を取得予定		5.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		LD.床OAフロア+シートフローリング、壁ビニルクロス+(PBt12.5)、天井ビニルクロス+(PBt9.5)		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				1.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1	空間のゆとり		-	-	3.2	0.50	
1	1 階高のゆとり	住宅部: 2.9m以上、3.0m未満	-	-	4.0	0.60	
2	2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2	3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3	3.3 設備の更新性		3.2	1.00	-	-	
1	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	2 給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕、更新できる	4.0	0.20	-	-	
3	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.3
1	1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.6
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱性能等級等級4を取得予定	4.0	0.20	-	-	4.0
2	2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	3 設備システムの高効率化		1.8	0.50	-	-	1.8
4	4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1	1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1	1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8
2.1	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材の詳細及びOA707-を採用	5.0	0.20	-	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	1 消火剤		-	-	-	-	
2	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=80%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	2 地域環境への配慮		2.3	0.33	-	-	2.3
2.1	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2	2 振動		-	-	-	-	
3	3 悪臭		-	-	-	-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	